

# 一般ガス事業者の経営効率化の実施状況

平成23年10月末現在

この資料は、総合エネルギー調査会都市熱エネルギー部会都市ガス事業料金制度分科会の報告を踏まえて、北海道経済産業局所管の各一般ガス事業者が、決算発表時等に公表した経営効率化目標及びその達成状況の主なものです。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																
<p><b>北海道瓦斯(株)</b></p> <p>目標の発表 21年12月</p> <p>達成状況の発表 23年4月</p>	<p><b>1. 天然ガスの普及拡大</b> 天然ガスの普及拡大に努め、経営資源の効率的な活用を図ります。 家庭用分野では、エコウィル・エコジョーズ等の高効率機器の普及拡大等、業務用・産業用分野では、他エネルギーからの燃料転換の推進等により、ガス販売量を着実に増加させ、ガス供給インフラ等の経営資源の効率的な活用を図ります。</p>	<p>家庭用分野においては、家庭用コージェネレーションシステムや省エネ型給湯暖房器「ECO ジョーズ」の配置台数を着実に増やしております。2011年度からは、寒冷地仕様の「ガスマイホーム発電」の新製品2機種を発売し、天然ガスの訴求力をさらに高めてまいります。</p> <p>また、業務用・産業用分野においては、他エネルギーからの燃料転換及び新築物件の獲得により、需要の拡大を図っております。</p> <p>この結果、各分野におけるガス販売量は、以下のとおりとなっております。</p> <p>■ガス販売量(千m<sup>3</sup>、46.04655MJ)</p> <table border="1" data-bbox="1317 722 2047 837"> <thead> <tr> <th></th> <th>2009年度</th> <th>2010年度</th> <th>対前年増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭用</td> <td>121,661</td> <td>126,573</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>非家庭用(含む卸売)</td> <td>305,052</td> <td>316,673</td> <td>3.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>426,713</td> <td>443,246</td> <td>3.9%</td> </tr> </tbody> </table>		2009年度	2010年度	対前年増減率	家庭用	121,661	126,573	4.0%	非家庭用(含む卸売)	305,052	316,673	3.8%	合計	426,713	443,246	3.9%
	2009年度	2010年度	対前年増減率															
家庭用	121,661	126,573	4.0%															
非家庭用(含む卸売)	305,052	316,673	3.8%															
合計	426,713	443,246	3.9%															
	<p><b>2. サービス水準の維持・向上</b> 地域に密着したサービスの充実を図るとともに、お客さまにより一層、便利にガスをご利用いただけるよう取り組んでまいります。 その主な取り組みとして、2010年1月よりスタート(当初は札幌、小樽、函館地区)する地域総合チャンネル「北ガスフレアスト」において、受付・料金収納やガス設備安全点検、さらにはガスの開閉栓業務からガス機器修理等に至るガスに関する業務を一元化したワンストップサービスを提供し、お客さまのニーズにお応えしてまいります。</p>	<p>お客さまにより一層、便利にガスをご利用いただける取り組みとして、最新のSiセンサーコンロ<sup>(※)</sup>を月々お手ごろな金額でご利用いただけるローン制度「らくらく北ガスローン」を開始いたしました。</p> <p>また、主に中小口の飲食店さま向けに、新たなガス料金メニュー「業務用稼働率別契約(eco 厨)」を設定し、料金メニューの多様化を図っております。</p> <p><sup>(※)</sup> Siセンサーコンロ：高感度温度センサーを全口に搭載し、安全・便利な機能を装備したコンロ。</p>																
	<p><b>3. 安全高度化の着実な推進</b> <b>(1) 経年管対策の推進</b> 「ねずみ鋳鉄管」につきましては、2011年度までの対策完了を目指して、入替等の対策を進めてまいります。また、保安上重要とされている建物における「白ガス経年埋設内管」の対策について、2015年度までの対策完了を目指しつつ、お客さまのご理解をいただきながら可能な限り前倒しできるよう努力してまいります。</p>	<p>2010年度の「ねずみ鋳鉄管」の入れ替え実績は、約10kmとなりました。これまでに、北見地区(2008年度)、函館地区(2009年度)、千歳地区(2009年度)、小樽地区(2010年度)の対策を完了しております。2011年度は、札幌地区の対策を完了させ、全社の対策完了を目指します。</p> <p>また、保安上重要とされている建物における「白ガス懸念埋設管」対策について、お客さまのご理解をいただきながら入れ替えを進めており、2015年の完了を目指し、引き続き取り組みを客実に進めてまいります。</p>																

(2) 安全型機器への買い替え促進

下取り制度の活用や各種キャンペーンの実施など、不完全燃焼防止装置のない半密閉式の湯沸器・風呂釜を対象に安全型機器への買い替え促進に取り組んでおり、2012年度までに対策完了率概ね100%を目指します。

(3) 地震等非常災害対策の推進

地震等非常災害時における2次災害の防止と復旧の早期化に向けて、ガス導管網の地震対策を進めてまいります。

下取り制度の活用や各種キャンペーンの実施など、不完全燃焼防止装置のない反密閉式の湯沸器・風呂釜を対象に、安全型機器への買い替え促進に取り組んでおります。2012年度までに対策完了率概ね100%を目指し、引き続き取り組みを進めてまいります。

地震等の非常災害発生時の二次災害及び早期復旧を目的に、ガス導管網の被災状況把握と被災地区のガス供給停止を速やかに行えるよう、ガバナ遠隔監視制御システムの整備を進めており、今年度から運用を開始する予定です。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<b>旭川ガス(株)</b> 目標の発表 21年6月  達成状況の発表 22年6月 23年6月	<b>1. 労働生産性の維持向上</b> 業務の効率化・適正化により、従業員一人あたりの労働生産性の維持向上に努めてまいります。平成20年度実績の従業員一人あたりの販売量に対し1.04倍を目指します。	業務の効率化・適性化に努め、平成22年度は1.20倍となりました。
	<b>2. 環境への対応</b> 環境負荷低減に資する天然ガスの普及拡大や、ガスコージェネレーションシステム等の高効率機器や天然ガス自動車の普及促進に努めてまいります。	天然ガス販売量は増加傾向にあり、今後も天然ガスの安定供給と普及拡大に努めてまいります。
	<b>3. 保安の向上</b> (1)経年管の入替促進 経年埋設管の入替を平成27年度完了に向け計画的に実施するとともに、耐震性、耐久性が高いポリエチレン管への取替促進に努めてまいります。 (2)お客さま先の保安の確保 安全装置付きガス機器及びCO（不完全燃焼）検知付ガス漏れ警報器の普及促進をはじめ給排気不良の改善促進に努めてまいります。	(1)平成27年度完了に向け、計画的に実施しております。平成22年度は24,200mの入替を行いました。今後も保安の高度化に向けて努めてまいります。 (2)安全装置付きの機器の普及に積極的に努めるとともに、CO検知付ガス漏れ警報器及びガス・火災・CO検知付複合型警報器の普及拡大に努めております。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<p>旭川ガス(株)江別支社</p> <p>目標の発表 22年7月</p> <p>達成状況の発表 23年6月</p>	<p><b>1. 労働生産性の維持向上</b> 業務の効率化・適性化により、従業員一人あたりの労働生産性の維持向上に努めてまいります。平成21年度実績の従業員一人あたりの販売量に対し1.04倍を目指します。</p> <p><b>2. 環境への対応</b> 環境負荷低減に資する天然ガスの普及拡大や、エコジョーズ等の家庭用高効率機器及び省エネ型ガス機器や天然ガス自動車の普及促進に努めてまいります。</p> <p><b>3. 保安の向上</b></p> <p>(1) 経年管や耐震化に向けた入替促進 経年埋設管の入れ替えを計画的に実施するとともに、耐震性耐久性が高いポリエチレン管への取替促進に努めてまいります。</p> <p>(2) お客さま先の保安の確保 安全装置付きガス機器及びCO(不完全燃焼)検知付ガス漏れ警報器の普及促進に努めてまいります。</p>	<p>業務の効率化・適正化に努め、平成22年度は1.17倍となりました。</p> <p>天然ガス販売量は増加傾向にあり、今後も天然ガスの安定供給と普及拡大に努めてまいります。</p> <p>(1) 平成22年度で本支管における白ガス管の入替は完了。今後も白ガス供給管の入替、導管の耐震化等の保安の高度化に向けて努めてまいります。</p> <p>(2) 安全装置付きの機器の普及に積極的に努めるとともに、CO検知付ガス漏れ警報器及びガス・火災・CO検知付複合型警報器の普及拡大に努めております。</p>

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<b>釧路ガス(株)</b> 目標の発表 22年3月 達成状況の発表 23年5月	<b>1. 天然ガスの普及拡大</b> 天然ガスの普及拡大に努め、経営資源の効率的な活用を図ります。 家庭用分野では、エコジョーズ等の高効率機器の普及拡大、業務用・産業用分野では他エネルギーからの燃料転換の推進等により、CO <sub>2</sub> の抑制や環境負荷の低減に努め、販売量を着実に増加させ、経営資源の効率的な活用を図ります。	工業用途においては他燃料から天然ガスへの転換営業に積極的に取り組んでおり、今年度も複数件の大口物件での運用開始が決定しております。 家庭用分野ではエコジョーズの普及拡大に取り組み、販売台数も平成22年度は前年度と比較して2割増の成果を挙げております。引き続きエコジョーズ等高効率消費機器の普及拡大に努めCO <sub>2</sub> 削減とともに、ガス販売量増加を着実に進め、経営資源の効率的な活用を図ってまいります。
	<b>2. 安全高度化の着実な推進</b> <b>(1) 経年管対策の推進</b> 白ガス経年埋設管の対策について、平成32年までの対策完了を目指しつつ、対策のスピードアップとコスト削減の観点から、新しく更正修理工法を採用するなどして、可能な限り前倒しできるよう努力してまいります。 <b>(2) 安全型機器への買い替え促進</b> 下取り制度の活用や各種キャンペーンの実施など、不完全燃焼防止装置のない半密閉式の湯沸器・風呂釜を対象に安全型機器への買い替え促進に取り組んでまいります。 <b>(3) 地震等非常災害対策の推進</b> 地震等非常災害時における被害の最小化と復旧の早期化に向けて、ガス導管網のブロック化を推進し、ガバナ―遠隔監視システムの更新を図るなどの地震対策等を進めてまいります。また、緊急時対策として、移動式ガス発生装置を導入して重要施設の供給障害に備えます。	平成22年度は中圧本管 1,980 m 低圧本支管 25,540m の経年管対策を行ないました。 また、管内管につきましてもお客さまにご提案の上ご理解をいただきながら入れ替えを進めております。引き続き目標年度までの計画完遂に向けて努めてまいります。 安全点検に加えて当該機器の早期買い替えに向け特別価格での提案など、引き続き安全型機器への買い替え促進に努めます。 平成22年度は、地震等非常時にガスによる二次災害を防止し、被害状況に応じた供給停止判断を可能にするために、小ブロック数を21ブロックから34ブロックに増やし、細分化を行ないました。また、旧ガバナ―遠隔監視システムを新システムに移行しました。今後はガバナ―遠隔監視網の充実を図るとともに、地震等非常災害対策の推進に努めます。

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																																																								
<b>帯広ガス(株)</b> 目標の発表 19年3月 達成状況の発表 21年10月 22年10月 23年7月	<b>1. 天然ガス導入による、安全性の向上と導管投資の抑制</b> 平成19年に天然ガスによる高カロリー化を実施致します。この高カロリー化により供給ガスの熱量が約3倍になり、導管内を流れるガスの量は逆に3分の1に減少します。このため、将来の供給量の増加を見込んで埋設している導管の口径を、現在よりも細いもので施工することができますので、材料費・施工費が削減されます。また、COを含まない天然ガスの導入による安全性の向上とクリーンな排ガスによる環境保全への貢献により、お客さまサービスの向上にも努めます。	COを含まない天然ガスの導入により、安全性が格段に向上するとともに、クリーンな排ガスによる環境保全への貢献が可能となり、お客さまサービスの向上にもつながっております。 また、高カロリー化により、導管の輸送能力も増大し、新規需要に対する導管の入替も減少し、導管投資に伴う経費も減少しております。																																																								
	<b>2. 人員のスリム化による人件費の抑制</b> 平成19年の熱量変更を境に、組織変更・業務内容の見直し等を行い、正規業務従業員を平成23年度までの5ヶ年で8名削減することに努めます。 <table border="1" data-bbox="481 671 1238 868"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正規業務従業員数</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>57</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>対H18年増減</td> <td></td> <td>▲1</td> <td>▲4</td> <td>▲4</td> <td>▲5</td> <td>▲8</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	正規業務従業員数	62	61	58	58	57	54	対H18年増減		▲1	▲4	▲4	▲5	▲8	平成22年度は退職者に対して2名の新規補充を行いました。今後も更なる業務の効率化を図っていくとともに、業務状況を考慮しながら新規補充等を行い、お客さまサービスの質の向上に努めていきます。 <table border="1" data-bbox="1305 671 2063 1010"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正規業務従業員数(目標)</td> <td>—</td> <td>61</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>57</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>対H18増減(目標)</td> <td>—</td> <td>▲1</td> <td>▲4</td> <td>▲4</td> <td>▲5</td> <td>▲8</td> </tr> <tr> <td>正規業務従業員数(実績)</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>58</td> <td>56</td> <td>53</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対H18増減(実績)</td> <td>—</td> <td>▲1</td> <td>▲4</td> <td>▲6</td> <td>▲9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	正規業務従業員数(目標)	—	61	58	58	57	54	対H18増減(目標)	—	▲1	▲4	▲4	▲5	▲8	正規業務従業員数(実績)	62	61	58	56	53		対H18増減(実績)	—	▲1	▲4	▲6	▲9	
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																																				
正規業務従業員数	62	61	58	58	57	54																																																				
対H18年増減		▲1	▲4	▲4	▲5	▲8																																																				
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																																				
正規業務従業員数(目標)	—	61	58	58	57	54																																																				
対H18増減(目標)	—	▲1	▲4	▲4	▲5	▲8																																																				
正規業務従業員数(実績)	62	61	58	56	53																																																					
対H18増減(実績)	—	▲1	▲4	▲6	▲9																																																					
	<b>3. 営業力強化によるガス販売量の増大とお客さまサービスの向上</b> 天然ガス転換後を見据えた営業力強化に努めます。具体的には、組織体制の再編を含めた営業部隊の増強、料金メニューの新設(セントラル、GHP等)等を行い、お客さまサービスの向上とガス販売量の増大に努め、経営効率化につなげてまいります。	昨年度より営業部の人員補強を行っており、ガス販売量の増大とお客さまサービスの向上への取り組みを推進しております。 特に環境性の高い「エコジョーズ」の拡販を進めており、灯油ボイラーからの燃転や太陽光発電システムとの組合せ等、お客さまにメリットのある提案を行うほか、ハウスメーカーへの営業やイベント等でのPRを積極的に行い、採用件数の獲得に努めております。 業務用においても新料金メニューを作成し、採用件数の獲得に努めております。 また、平成22年4月より(株)帯ガスサービスを設立し、更なるお客さまサービスの向上に努めております。																																																								

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<p>室蘭ガス(株)</p> <p>目標の発表 22年7月</p> <p>達成状況の発表 22年10月 23年10月</p>	<p><b>1. 経営効率化の推進</b> 社内に効率化推進委員会を設け、効率化運動「チャレンジスリム作戦」を展開し、全社員による更なる効率化への取り組みを推進します。</p> <p><b>2. 経営基盤の強化</b> (1)新たに選択約款、家庭用省エネ給湯暖房セントラル料金を導入し、エコジョーズ等の高効率型器具を普及させ、環境保全を図るとともに一層の現有設備の利用率を向上させ、収益の向上を図ります。 (2)COを全く含まない安全性の高い天然ガスのメリット、環境保全の優位性を有効的に利用し、業務用・産業用などの大口需要などの獲得に努め、ガス販売量の拡大を目指します。</p> <p><b>3. 保安の向上</b> (1)経年管入替促進 経年埋設管の入れ替えを促進するとともに、非開削工法の導入・検討を行うとともに、耐震・耐食性に優れているポリエチレン管を使用し導管設備投資額の継続的なコストダウンを行います。</p> <p>(2)安全型器具の導入と買替促進 不完全燃焼防止装置のない給湯機・風呂釜及び経年劣化が見られる器具を対象に、各種セール・キャンペーンなどの実施により、安全型器具への買替促進に努めます。</p>	<p>光熱費、消耗品を中心に推進中です。</p> <p>(1)ハウスメーカー・新築物件などを中心に、成約数を着実に増加させ、収益の向上に寄与しています。</p> <p>(2)新規大口需要獲得に向けた営業展開を実施しています。</p> <p>(1)①パイプスプリッター工法の施工範囲拡大 ・H23年4～10月実績 0.2km。 ②低圧導管におけるポリエチレン管の普及率 H22年3月末 28.8%(108km) H22年9月末 29.8%(112km) H23年10月末 31.8%(118km)</p> <p>(2)H23年4～10月 交換実績 18台</p>

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																																																										
<p>苦小牧ガス(株)</p> <p>目標の発表 22年5月</p> <p>達成状況の発表 23年5月</p>	<p><b>1. 保安の確保</b> 経年管対策として、ポリエチレン管への入れ替えを積極的に進め、ポリエチレン管の普及率を3年間で1.5%増加させる。</p> <p>目標</p> <table border="1" data-bbox="465 389 1209 587"> <thead> <tr> <th></th> <th>基準 (21年)</th> <th>22年度末</th> <th>23年度末</th> <th>24年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普及率(%)</td> <td>51.1</td> <td>51.4</td> <td>51.7</td> <td>52.6</td> </tr> <tr> <td>増加普及率(%)</td> <td></td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2. 環境への対応</b> 環境にやさしい天然ガスの普及拡大と高効率機器の普及促進に努める。</p> <p><b>2. 環境への対応</b> 環境にやさしい天然ガスの普及拡大と高効率機器の普及促進に努める。</p>		基準 (21年)	22年度末	23年度末	24年度末	普及率(%)	51.1	51.4	51.7	52.6	増加普及率(%)		0.3	0.3	0.9	<p>実績</p> <table border="1" data-bbox="1261 389 2058 699"> <thead> <tr> <th></th> <th>基準(21年)</th> <th>22年度末</th> <th>23年度末</th> <th>24年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリエチレン管 (m)</td> <td>180,925</td> <td>190,680</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧管合計(m)</td> <td>354,275</td> <td>358,531</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普及率(%)</td> <td>51.1</td> <td>53.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>増加普及率(%)</td> <td>51.1</td> <td>2.1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>高効率機器設置台数</p> <table border="1" data-bbox="1283 826 1955 995"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>新設</th> <th>取替</th> <th>新設</th> <th>取替</th> <th>新設</th> <th>取替</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		基準(21年)	22年度末	23年度末	24年度末	ポリエチレン管 (m)	180,925	190,680			低圧管合計(m)	354,275	358,531			普及率(%)	51.1	53.2			増加普及率(%)	51.1	2.1			平成22年度		平成23年度		平成24年度		新設	取替	新設	取替	新設	取替	26	6				
	基準 (21年)	22年度末	23年度末	24年度末																																																								
普及率(%)	51.1	51.4	51.7	52.6																																																								
増加普及率(%)		0.3	0.3	0.9																																																								
	基準(21年)	22年度末	23年度末	24年度末																																																								
ポリエチレン管 (m)	180,925	190,680																																																										
低圧管合計(m)	354,275	358,531																																																										
普及率(%)	51.1	53.2																																																										
増加普及率(%)	51.1	2.1																																																										
平成22年度		平成23年度		平成24年度																																																								
新設	取替	新設	取替	新設	取替																																																							
26	6																																																											

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<b>美唄ガス(株)</b> 目標の発表 20年3月  達成状況の発表 21年決算時 22年決算時	<b>1. 保安の確保</b> (1) 経年管対策として経過年数の高い管として、ジュート巻鋼管の入替を促進する。  (2) 白ガス管経年埋設内管の入替の促進。  (3) ガス導管網の地震対策の推進。	<p>平成 21 年に続いて、22 年においても、ジュート巻鋼管の埋設状況を確認した結果、腐食等の影響は少なく、白ガス鋼管の入替作業を優先して実施しました。 この結果、白ガス鋼管については、前年より 1,461 m の減少となりました。</p> <p>お客様の資産である埋設内管の入替については、お客様のご理解をいただきながら進めております。</p> <p>地震対策として、導管のポリエチレン管への入替を促進し、平成 22 年末で、本支管の 45.6 %がポリエチレン管となりました。</p>
	<b>2. 労働生産性の維持向上</b> 業務の効率化を積極的に図り、基準外労務費の抑制に努めること。	<p>業務の効率化を図り基準外労務費の抑制に努め、基準外労務費の割合は、実行前の5カ年間の平均と比較して、▲ 2.66 %となりました。今後も効率化を推進し、労務費の圧縮に努めます。</p>
	<b>3. お客様サービスの向上</b> コンビニエンスストアでのお支払方法の確立。	<p>システムの変更により、平成 20 年 8 月よりコンビニエンスストアでのお支払いが可能となりました。</p>
	<b>4. 新選択約款の導入</b> 「年間空調契約選択約款」と「給湯契約選択約款」の2つの選択約款を導入する。	<p>平成 20 年 4 月 1 日より実施いたしました。</p>
	<b>5. 環境保全への対応</b> 環境保全に寄与する高効率機器の普及促進に努める。	<p>お客様への高効率型機器のPRに努めるため、ガスまつり（ガス展）等の機会を積極的に活用しております。</p>

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<p><b>滝川ガス(株)</b></p> <p>目標の発表 20年7月</p> <p>達成状況の発表 21年決算時 22年決算時</p>	<p><b>1. 保安の確保</b></p> <p>(1) 経年管対策 鋼管及びねずみ鋳鉄管の入替を積極的に推進し保安の確保に努めてまいります。</p> <p>(2) 白ガス管経年埋設内管の対策 保安上、重要とされている建物における「白ガス管経年埋設内管」の対策について、平成27年までの対策完了を目指しつつ、お客様のご理解をいただきながら可能な限り前倒しできるよう努力してまいります。</p> <p>(3) 地震対策 地震等非常災害時における被害の最小化と復旧の早期化に向けて、ポリエチレン管普及率の向上を図り、ガス導管網の地震対策を進めてまいります。</p>	<p>ねずみ鋳鉄管、白ガス管について、ポリエチレン管への取替を実施し、平成22年末ポリエチレン管の割合が72.1%になり、保安の確保に努めました。</p> <p>今後とも平成27年までの対策完了を目指し取替促進を図ります。</p> <p>経年管対策と同様にポリエチレン管の普及促進を図りました。</p>
	<p><b>2. 労働生産性の維持向上</b></p> <p>より一層の業務の合理化の促進により、業務の効率化を積極的に図り、労務費の抑制に努めてまいります。</p>	<p>労務費の削減状況 平成21年 前年比▲0.2% 平成22年は4人増員となりましたが、業務の効率化を図り、時間外労働の抑制等に努めた結果、労務費を前年比3.6%増にとどめました。</p>
	<p><b>3. お客様サービスの向上</b></p> <p>平成13年11月より導入しております金融機関の口座振替・コンビニ収納をお客様の利便性を高めるため、さらにコスト削減の観点からも、より一層の推進を図ってまいります。</p>	<p>口座振替、コンビニ収納は、平成21年96.5%、22年は一部、お客様都合により直接集金に変更したため、95.4%となりました。</p>
	<p><b>4. 新選択約款の導入</b></p> <p>既に6種類の選択約款を作成してお客様の多様なニーズに対応し、また時間負荷の改善、所有設備の利用率の向上によりコスト削減に努めてまいりましたが、今後も選択約款の新設を図り、より一層お客様に利便性を提供しコスト削減に努めます。</p>	<p>平成21年に「小型空調契約選択約款」の新設を図り、お客様に対し、より一層の利便性提供に努めました。</p>
	<p><b>5. 環境保全への対応</b></p> <p>環境保全に寄与するために高効率機器の普及促進を図り環境負荷低減に努めます。</p>	<p>お客様への高効率型機器のPRに努めるため、感謝祭(展示会)、セール等で積極的に促進を図りました。</p>

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容																										
<b>岩見沢ガス(株)</b> 目標の発表 20年7月 23年7月 達成状況の発表 21年10月 22年4月 23年4月	<b>1. 労働生産性の向上保安の確保</b> 天然ガス転換が終了したことを踏まえ、業務改善を図ることにより生産性の向上を図ります。 <今後3年間(H20～22年)での目標> ・従業員一人あたり需要家件数 165件/人 ・従業員一人あたり販売量 43,200m <sup>3</sup> /人	従業員一人あたりの需要家件数、販売量 <平成20年>従業員数22名 需要家件数 163件/人 販売量 40,045m <sup>3</sup> /人 <平成21年>従業員数19名 需要家件数 186件/人 販売量 43,614m <sup>3</sup> /人 <平成22年>従業員数19名 需要家件数 184件/人 販売量 44,780m <sup>3</sup> /人																										
	<b>2. 保安・サービスの向上</b> (1)経年管のポリエチレン管への取替を計画的に進め、保安の向上を図ります。 <table border="1" data-bbox="481 643 1223 812"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>基準年</th> <th colspan="3">計 画 年</th> </tr> <tr> <th>(19年)</th> <th>20年</th> <th>21年</th> <th>22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普及率(%)</td> <td>29.3</td> <td>30.8</td> <td>32.3</td> <td>33.2</td> </tr> </tbody> </table> (2)ホームページを開設し、お客さまサービス向上と併せて、保安情報の提供を行うよう努めます。		基準年	計 画 年			(19年)	20年	21年	22年	普及率(%)	29.3	30.8	32.3	33.2	(1)経年管のポリエチレン管への取替 経年管取替実施数・普及率 <table border="1" data-bbox="1319 643 1933 812"> <thead> <tr> <th></th> <th>20年</th> <th>21年</th> <th>22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施数(m)</td> <td>604.5</td> <td>828.7</td> <td>772.5</td> </tr> <tr> <td>普及率(%)</td> <td>30.3</td> <td>32.0</td> <td>33.4</td> </tr> </tbody> </table> (2)平成20年10月にホームページを開設し、各種最新情報を提供しています。		20年	21年	22年	実施数(m)	604.5	828.7	772.5	普及率(%)	30.3	32.0	33.4
	基準年		計 画 年																									
	(19年)	20年	21年	22年																								
普及率(%)	29.3	30.8	32.3	33.2																								
	20年	21年	22年																									
実施数(m)	604.5	828.7	772.5																									
普及率(%)	30.3	32.0	33.4																									
	<b>3. 料金メニューの多様化</b> お客さまの多様化するニーズに応えられるよう、新たなガス料金メニューの設定を図ります。	高効率給湯器「エコジョーズ」や潜熱回収式給湯暖房機を使用するお客様ニーズに対応するため、新たなガス料金メニューを設定しました。 ・平成20年10月 「家庭用高効率セントラルヒーティング契約」 ・平成22年10月 「家庭用省エネ給湯暖房契約」(エコエネぷらん)																										
23年7月																												
	<b>1. 労働生産性の向上</b> 業務の効率化・適正化により、平成25年末迄に下記のとおり労働生産性の維持向上に努めます。 <今後3年間(H23～25年)での目標> ・従業員一人あたり需要家件数 156件/人 ・従業員一人あたり販売量 40,147m <sup>3</sup> /人																											

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容															
岩見沢ガス(株)	<p><b>2. 保安・サービスの向上</b>  (1) 経年管のポリエチレン管への取替を計画的に進め、保安の向上を図ります。</p> <table border="1" data-bbox="481 304 1223 475"> <thead> <tr> <th data-bbox="481 304 676 360"></th> <th data-bbox="676 304 817 360">基準年</th> <th colspan="3" data-bbox="817 304 1223 360">計 画 年</th> </tr> <tr> <td data-bbox="481 360 676 416"></td> <td data-bbox="676 360 817 416">(22年)</td> <td data-bbox="817 360 958 416">23年</td> <td data-bbox="958 360 1099 416">24年</td> <td data-bbox="1099 360 1223 416">25年</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="481 416 676 475">普及率(%)</td> <td data-bbox="676 416 817 475">33.4</td> <td data-bbox="817 416 958 475">35.0</td> <td data-bbox="958 416 1099 475">36.5</td> <td data-bbox="1099 416 1223 475">38.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 不完全燃焼防止装置付き湯沸器や安全装置付きテーブルコンロなどの安全機器の普及拡大に努めます。</p>		基準年	計 画 年				(22年)	23年	24年	25年	普及率(%)	33.4	35.0	36.5	38.0	
		基準年	計 画 年														
		(22年)	23年	24年	25年												
普及率(%)	33.4	35.0	36.5	38.0													
<p><b>3. 料金メニューの多様化</b>  (1) お客様の多様化するニーズに応えられるよう、新たなガス料金メニューの設定を図ります。</p>																	
<p><b>4. 環境保全への貢献</b>  (1) 環境負荷軽減に寄与する天然ガスの普及拡大を行うとともに、省エネルギー性に優れた高効率機器等の普及促進に努めます。</p>																	

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<p>長万部町</p> <p>目標の発表 23年6月</p> <p>達成状況の発表</p>	<p><b>1. 経営効率化の推進</b>  全職員が積極的営業活動を展開し、ガス販売量の拡大を図る中、経営効率化による経営体質の強化、サービスの向上及びガスの安定供給、保安の確保に努めて参ります。</p>	
	<p><b>2. 経営基盤の強化</b>  (1) 需要の拡大  熱量変更による新機種の器具販売が可能となったことから、積極的な営業活動を展開し、ガス販売量の増加による収益の向上を図ります。  (2) 設備投資の抑制  熱量変更により、経年管取替費の軽減が可能となり、設備投資の抑制をし、効率の良い投資を行います。</p>	
	<p><b>3. 保安の向上</b>  (1) 経年管取替促進  計画的な経年管の取替を実施し、耐震・耐食性に優れたポリエチレン管を使用し、保安の確保に努めます。  (2) ガス漏れ警報器設置等の促進  ガス漏れに備え、ガス漏れ警報器設置を促進します。  また、万一のガス漏れ等の緊急時に備えた緊急出動態勢を構築し、保安の確保に努めて参ります。</p>	